

特定用途制限地域（東側：幹線沿道Ⅱ型）
（西側：一般・環境保全型）
予定建築物の用途：一戸建ての住宅

開 発 許 可
年 月 日

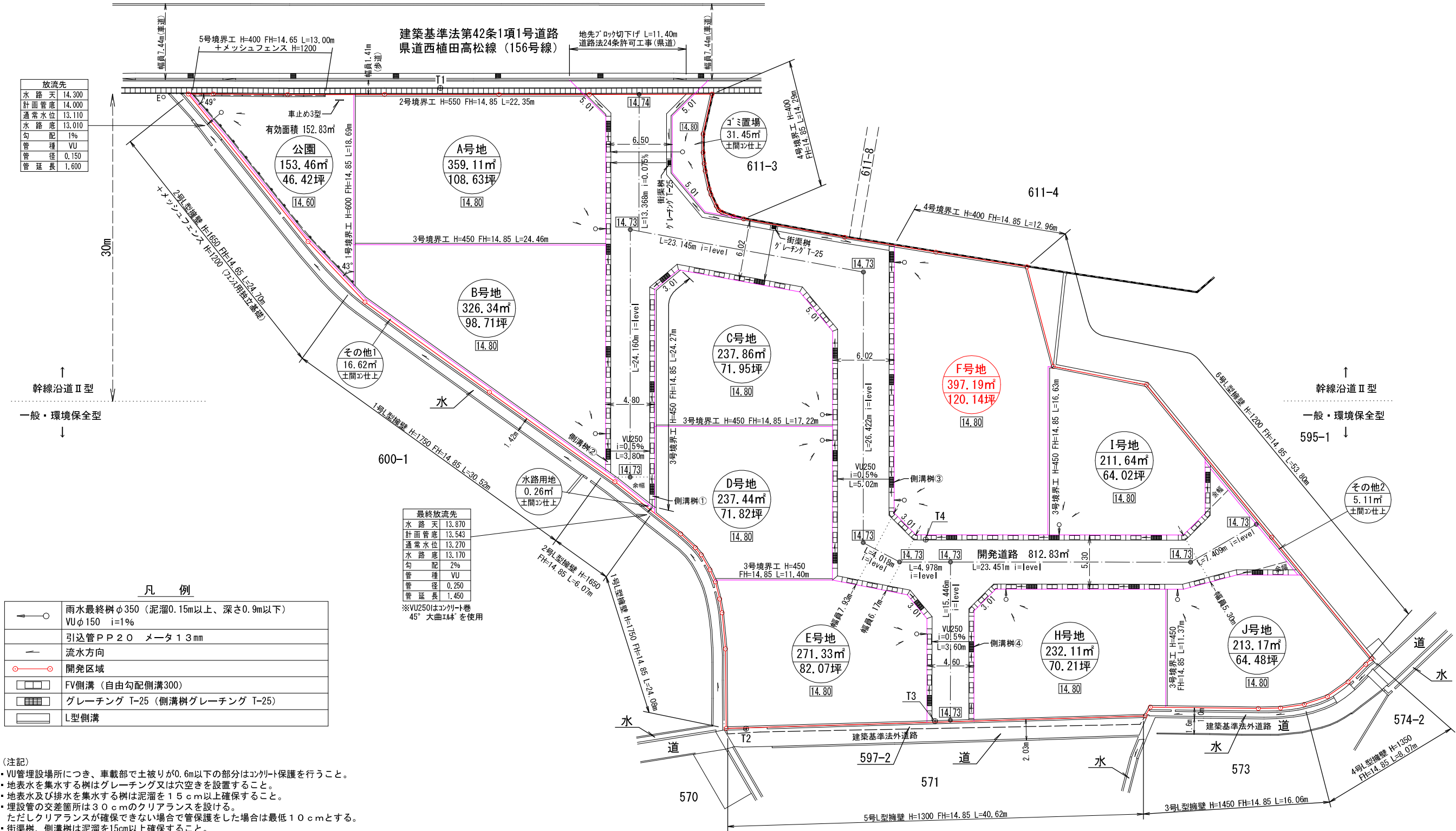
第 令
和
年
月
日
号

申 請 者

株式会社アルファード
代表取締役 七條政利

作 成 者
住所・氏名

高松市伏石町二七四番地一五
行政書士 松澤人史



放流先	
水路天	14.300
計画管底	14.000
通常水位	13.110
水路底	13.010
勾配	1%
管種	VU
管径	0.150
管延長	1.600

最終放流先	
水路天	13.870
計画管底	13.543
通常水位	13.270
水路底	13.170
勾配	2%
管種	VU
管径	0.250
管延長	1.450

※VU250はコンクリート巻
45°大曲ミッドを使用

凡 例	
	雨水最終樹φ350（泥溜0.15m以上、深さ0.9m以下） VUφ150 i=1%
	引込管PP20 メータ13mm
	流水方向
	開発区域
	FV側溝（自由勾配側溝300）
	グレーチング T-25（側溝樹グレーチング T-25）
	L型側溝

- （注記）
- ・VU管理設場所につき、車載部で土被りが0.6m以下の部分はコンクリート保護を行うこと。
 - ・地表水を集水する樹はグレーチング又は穴空きを設置すること。
 - ・地表水及び排水を集水する樹は泥溜を15cm以上確保すること。
 - ・埋設管の交差箇所は30cmのクリアランスを設ける。
ただしクリアランスが確保できない場合で管保護をした場合は最低10cmとする。
 - ・街渠樹、側溝樹は泥溜を15cm以上確保すること。
 - ・画地内の法面は30°以内の傾斜とする。
 - ・画地内の整地は最終樹に表面雨水が集水するよう仕上げること。
 - ・L型側溝とFV側溝の接続部は段差が生じないよう施工する。
 - ・開発協議は最終樹から一次放流先までとする。
 - ・開発道路内には電柱を設置しない。
 - ・L型側溝は雨水が滞留しないよう施工すること。
 - ・擁壁にはフェンス等を設置しない。
 - ・家庭用汚水は合併浄化槽を経由し宅内樹を経て放流する。

座 標 リ ス ト			
点 名	X	Y	Z
T1	143117.346	53811.770	Z=14.68 (TP=14.68)
T2	143061.912	53770.137	Z=13.89 (TP=13.89)
T3	143045.894	53779.338	
T4	143054.907	53794.628	